

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 7 月 22 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870105214		
法人名	株式会社 ファミリーケア		
事業所名	グループホーム いまづ		
所在地	松山市西垣生町1184-6 (電話) 089-972-0050		
管理者	亀本 知子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 4 月 25 日	評価確定日	平成 20 年 7 月 23 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 4 月 5 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 9 月 13 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14 人, 非常勤 人, 常勤換算 14 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	15,670 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 4 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	2 名	要介護 2	5 名
要介護 3	5 名	要介護 4	4 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 85 歳	最低 58 歳	最高 104 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

樹齢100年の木が茂る神社、公民館、交番、郵便局、市支所、小学校、幼稚園、昔ながらの商店などが集まっている住宅地にすっかり溶け込んでいるホームである。一階には在宅支援のデイサービス、ヘルパーステーション、鍼灸院があり、常に地域の方が出入りしている。二階にある2ユニットがスタッフルームでつながっており、交流や見守りに便利な造りとなっている。利用者の笑顔や会話から、満足して毎日を過ごしている様子がうかがえる。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

管理者は評価の意義をよく理解しており、職員全員が各自で自己評価をするように取り組んでいるが、全体で話し合っ改善に結びつけるまでには至っていない。全職員で項目を理解し、取り組みを検討し、改善計画を立て、できることから実施していくことを期待する。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

職員全員が個々に自己評価に取り組んだものを、ユニット毎にユニット長がまとめている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

ホームの行事報告などの報告が主な内容となっており、意見交換が少なく、サービスの向上に活かすことが少ない。また、地域からの参加も少ない。運営推進会議のメンバーを再度検討し、地域のキーパーソンとなる方をお願いして、様々な意見をサービスの向上に結び付けていくことを期待する。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

来訪時に声をかけて日々の暮らしぶりを伝えたり、利用者の伝えたいことを聞きとって手紙にするなどしているが、職員の異動などホームの様子は詳しく伝えていない。ホーム全般については、広報も兼ねたホーム便りの発行を検討することを期待する。各利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理の状態などは、定期的に個別に報告することが求められる。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域のメンバーとして各行事に参加するだけでなく、利用者は元々地域で生活していた方が多いため、現在も交流はさかんで、スーパーなどでも自然に声をかけ合っている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名  
(ユニット名) ファミリーケア垣生 グループホームいまづ  
うめ

記入者(管理者)  
氏名 亀本 知子

評価完了日 平成 20 年 4 月 5 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「温」を基本理念に掲げ、家庭的な雰囲気のもと、温かな介護を心がけ、その人らしい生活が送れるよう、日々の生活を支援しています  (外部評価) 開設者が地元の住民であり、開設時に掲げた理念自体が地域を念頭に決めたものである。「温」という理念は、利用者も職員も地域の方も、言葉はやさしく、常に笑顔で、安心して過ごせる場づくりをめざしたものである。	※	運営推進会議などを通じて、地域に向けて活動をしていきたい
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) フロアの目に付きやすい所に掲示し、ミーティング時、朝夕の申し送り時など、そのとき時に、基本理念に添ったケアが行えているか、振り返る機会を持つようにしている  (外部評価) 「温」という、わかりやすくイメージを抱きやすい理念なので、日々の生活での関わりの中で、常に意識して過ごしている。	※	新しい職員も増えたのもう一度、基本理念の「温」、温かい介護について職員全員で考える機会を持ち徹底をしていきたい
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居時には、ホームの理念について説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 入居者の方が地域の方が多く関係で、ホーム周辺の方の面会が非常に多く、近所の医療機関、スーパーなどでお会いすることがあっても声をかけてもらえるようになっている。野菜や果物などのおすそ分けを頂くことも多い		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近所の三嶋神社で行われる、鍵屋際、夏祭り、秋祭りなどにも毎年参加している。近所の幼稚園との交流もある  (外部評価) 地域の一員として各行事に参加するだけでなく、利用者は地域の方が多いため現在でも地域の方との交流はさかんで、スーパーなどでも自然に声をかけ合っている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議のときに、地域の民生委員の方から情報は入るが具体的な取り組みなどは行っていない	※	今後地域に向けてできることについても考えていきたい
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の目的、意義をミーティングで、職員に説明し、自己評価を行い、個々に日々のケアの振り返りをおこなった。  (外部評価) 評価の意義をよく理解しており、職員全員が各自で自己評価をしてみるよう取り組んでいるが、全体で話し合っ て改善に結びつけるまでには至っていない。	※	全職員が項目ごとの理解、取り組みを検討し、改善計画を立て、できることから実施していくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホーム内の生活の様子や日々の取り組みについての報告を行い、そのときに家族の方や地域の方からの意見や要望を頂きサービスの向上につなげている  (外部評価) ホームの行事報告等が主な内容となっており、意見交換が少なく、サービスの向上に活かすことが少ない。また、地域からの参加も少ない。	※	運営推進会議のメンバーに地域のキーパーソンの参加をお願いするなど、様々な意見をサービスの向上に結び付けていく取り組みを期待する。また、運営推進会議での議題設定についても家族や職員等で話し合い、より活発な会議となるよう期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 電話連絡などで質問や報告を行っている  (外部評価) ホームのすぐ隣に市役所の支所があり、介護保険や生活保護などの書類提出などをきっかけとして、行き来して話しやすい関係をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会のときに取り上げ、どういう人が、対称になるか具体的な事例等を用いて考える機会をもった		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会のときに取り上げ、どういうものが、虐待の対称になるか具体的な事例等を用いて考える機会をもった		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行っている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々の生活の中から利用者の方の意見や不満を引き出せるような声かけや関わりを行い、職員間で話し合う機会を設けている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会に来られたときに近況の報告をおこなっている。遠方の方や面会に来られる回数少ない方には、手紙と一緒に、毎日の生活の様子や外出のときの写真を送付したり、電話で報告を少しでもホームでの生活ぶりが伝わるように工夫している。金銭管理については、請求書を渡すときにお小遣い帳のコピーをお渡しするようにしている。 <hr/> (外部評価) 来訪時に声をかけて日々の暮らしぶり伝えたり、利用者の伝えたいことを聞きとって手紙にするなどしているが、職員の異動などホームの様子は詳しく伝えていない。	※	ホーム全般については、広報も兼ねたホーム便りの発行を検討することを期待する。各利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理の状態などは、定期的に個別に報告することが求められる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の面会時に意見等を伺うようにしている。家族の方からの意見や要望等については、朝、夕のミーティングで話合うようにしている。 <hr/> (外部評価) 家族からはあまり意見や希望は寄せられていない。	※	来訪時は勿論、運営推進会議やホーム行事に参加してもらった時など、意見や希望を話しやすい雰囲気づくりを工夫し、出された意見は記録して共有し、サービスの向上につなげることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎朝の申し送り、ミーティング時に意見を出し合うようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の方の状況に応じて、出勤時間、退社時間の変更や調整をするように心がけている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 関連施設からの職員の応援や他のユニットからの応援を行うことで利用者の方にかかるダメージを最小限に抑えるように配慮している  (外部評価) 異動は少ないが、産休・育休等もあるため、引継ぎを十分にするとともに利用者へ説明し顔つなぎをして、円滑に移行できるよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 経験年数に応じた介護教室や勉強会などに参加を促し、ケアの向上に努めている  (外部評価) 職員が選んで参加できるよう、研修の情報を開示しているが、シフトの調整等が難しいこともあり、参加は少ない。	※	運営者及び管理者は、各職員の力量に応じて研修を受ける機会を確保するとともに、ホーム内でもテーマを設定した勉強会を開催するなど、職員の育成にさらなる工夫と配慮を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣のグループホームなどを見学し、他のホームの職員と交流が深められるような機会を持つように心がけている	※	今後もいろいろなホームに見学に行き、交流が図れる機会を作って生きたい
			(外部評価) 案内があれば管理者が参加しているが、職員までは参加していない。	※	地域包括支援センター管内のグループホームで集まる機会があるので、管理者だけでなく職員間でも積極的に交流する機会をつくり、相互のサービスの向上に役立てることを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 運営者は、管理者会議のときに、各事業所の管理者から、職員からの意見や不満などを聞き、改善等を行っている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者には、管理者会議のときに報告している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に家族の方から今までの生活歴や家族構成などその方にかかわりのあることの聞き取りを行い、安心してもらえるようにかかわっている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に、見学を兼ねてホームへ来ていただき、入居前の状況や今までの経過などを聞き取りを行う事で、家族の方が困っていることや悩んでいることを把握するようにしている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前の様子や在宅からの習慣が引き続き続いていくような援助が行えるように、入居前の生活暦を大事にしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 体験入居を設け、グループホームがどういったところか理解してもらえ、本人、家族の方に納得、安心していただいてから利用してもらえるようにしている  (外部評価) 入居前に在宅時のケアマネジャー等と情報交換し、自宅を訪問して生活環境を含む生活ぶりを把握し、見学や体験入居を繰り返しながら徐々に雰囲気に慣れてもらうよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中での声かけを大切に、職員は、目配り、気配り心配りを目標に、毎日、利用者の方と一緒に生活を行っている  (外部評価) 職員は業務のみに従事しているのではなく、側に寄り添いながら会話することを大切にしており、ともに楽しんだり、感動したりできる関係を築いている。食事時などは利用者と職員で楽しそうに話が盛り上がっていた。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の方にも本人の体調や状況などに応じてホームに来ていただき、職員と一緒にケアをして頂くことで職員と共に支える関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) クリスマス会や花見など行事の参加を呼びかけたり、定期的な面会が難しい家族には、ホームからの近況報告、本人からの手紙、写真などを送りこれまでのつながりが継続するような支援をおこなっている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近所の神社への参拝、お墓参り、マッサージ、デイサービスなどその方が今まで送ってきた生活の継続を目標に、日々のケアにあっている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) その人その人にあった生活が送れるよう、利用者間の人間関係にも気を配り日常生活が円滑に送れるよう援助している		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホームを退去になった理由のほとんどが、病院への入院なのでいままでの方については、退去後の付き合いなどはおこなっていない	※	退去になった方のその後のケアについても今後考えていきたい
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人が意見を言えるかについては、サービス担当者会議に参加してもらってホームでどのように暮らしていきたいか検討している。本人から意見の聞き取りが、難しい方は、家族の方にサービス担当者会議に参加していただいたり、面会時に意見を頂くようにしている  (外部評価) 入居時に丁寧なフェイスシートを作っているが、加えて日常の会話の中から利用者の気持ちを把握するよう努めている。家族の訪問時には進んで声をかけ、希望や意向を把握するようにしている。	※	家族の面会時にサービス担当者会議を開催できないか、検討したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 在宅での生活の様子を家族の方に聞いたり、在宅サービスを受けていた方は、担当ケアマネに話を聞くようにして在宅での生活の様子把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 担当医にその方の身体状況について、指示をいただき、それをもとに日々の生活や活動内容をきめている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族や本人の意向や要望をもとにミーティング時にサービス担当者会議を行い、職員全員で介護計画についての話し合いをもつようにしている	※	サービス担当者会議に主治医も参加してもらえないか検討したい
			(外部評価) ミーティング時に全職員の意見を集約して介護計画を立てるよう努めているが、担当者とケアマネジャーで相談して立てることになりがちなユニットもある。	※	書類を書くのが苦手な職員も、介護計画の作成に積極的に参加できる工夫が求められる。家族からの要望はほとんどないと最初から諦めることなく、家族・利用者・主治医などの意見も盛り込みながら職員が協力して作成し、共有することを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 通常は3ヶ月に一回、介護計画の見直しを行っている 身体状況などに応じてそのつど介護計画の見直しをおこなうようにしている		
			(外部評価) 3か月ごとに見直し、変化が生じた時点での新たな介護計画を立てている。	※	1か月に1回開催しているミーティング時に、介護計画に基づいた評価を明確にする記録システムを工夫し、職員全員で話し合っ見直すことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 誰が介護計画を読んでもそのときの状態や経過などがわかるように、状況や会話、反応などを詳しく記録するようにしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 1階にあるデイサービスや鍼灸院などを利用することで在宅でおこなっていたことが引き続き援助できるように努めている  (外部評価) 要望に応じて、デイサービスや鍼灸院を利用できるよう支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防は年2回の避難訓練のほかに、普通救命講習の開講などを行っている。近隣の幼稚園との交流もあり利用者の方には楽しい行事の1つになっている。ボランティアの受け入れも4月より予定している		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) その人その人にあつた生活が送れるよう、その時々に応じて援助している		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現段階では、包括に相談するような事例は無いが、運営推進会議のときに、報告しアドバイスをもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関をいくつか設け入居時に家族の方に希望の医療機関を選んでもらっている  (外部評価) 入居前からの主治医との関係を大切にするとともに、24時間対応可能な往診専門の診療所とかかりつけ医の関係を築き、適切な医療が常に受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 心療内科の先生に2週間に1回往診に来てもらっている。薬の調整が必要な人は、適宜、電話で指示をもらっている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を1人配置し、日常生活の健康管理や医療機関との連携に努めている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は、入院先の病院、家族、主治医とよく相談し、できるだけ早期に退院できるようにしている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族の意向をもとに、主治医をふまえて相談をし方向性をだしその話し合いの結果を職員に報告し、全員で共有している  (外部評価) 利用者、家族には、ターミナルケアについて医師より詳しく説明をしてもらい、同意書もらっている。また、看取りについてマニュアルを作成し、かかりつけ医を中心にスタッフのコミュニケーションをとっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医に、ホームでの看取りについての話をしてもらい、そのことをもとにもう一度、ミーティング時に職員で話し合う機会をもった		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 主治医をふまえて、家族、本人とよく話し合いをもつようにしている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 日々の関わりの中で、目配り、気配り、心配りを大切にケアにあつたている  (外部評価) 利用者の尊厳を大切にしており、特におむつ交換やトイレ介助には配慮している。入浴介助等も、同性介助の希望等にも対応している。個人の記録については、利用者間においてもプライバシーを侵害することのないよう取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個人の好みや嗜好など、日々の生活の中での細かなことから自己決定できる機会を作っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴の時間や食事の時間などその人の体調や状態に配慮しながら、本人の希望を取り入れるようにしている  (外部評価) 利用者自身が自分のペースを保ちながら過ごしている。食事の後片付け、洗濯物の取り込み等、職員は利用者の生活パターンを理解している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 行きつけの店がある人は、入居後も引き続き本人の希望する店にいつている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その人の能力に応じて、みんなで協力しながら、下ごしらえなどをおこなっている  (外部評価) 料理の下ごしらえを、当たり前のことのように自然に行っている姿が見られた。食事中も会話が弾んでにぎやかに楽しく過ごしている。後片付けもできる方が手伝っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個人が好むものを、購入し間食などに食べてもらうようにしてもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その人その人の排泄パターンにあった介助をおこなっている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の体調や状況をみながら、希望の日に入浴できるように支援している  (外部評価) 一人ひとりの希望を把握しており、入浴を楽しむ気分になれるよう声かけ等にも工夫しながら支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その方の体調や状態にあった睡眠が取れるように、日中の過ごし方にも配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中で役割を持ってもらえるよう働きかけている。近隣の幼稚園との交流や外出など楽しみに繋がるようなことを計画している  (外部評価) 竹踏み、折り紙、編み物、裁縫などやりたいことをして過ごしている。また、食事の際には他の利用者の食器を片付ける方もおり、自分の役割を持って生活していることがうかがえる。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人で現金を管理する際は、家族の方に了解をいただいた上で、管理を任せるようにしている。そのほかは、外出時に必要な金額を渡すようにし、お小遣い帳をつけている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物等、その時々に関心や希望を聞くようにしている  (外部評価) ごみ出し、散歩、近所のスーパーへの買い物等へ出かけたりしている。幼稚園にもよく出かけていく。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家が近所の方などは、散歩の途中にお墓によったり、家によったりしている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族が遠方な人は、定期的に電話連絡や手紙など近況を報告している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 地元からの入居される方が多い為、近所の方の面会も頻にある		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束がどのような行為なのかを職員で考える機会を設け、拘束をしないケアに日々取り組んでいる		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 帰宅願望の見られる方には、一緒に散歩に出たりして、工夫をしている  (外部評価) 2ユニットがL字型で、スタッフルームは繋がっており、外へ出るには両方の職員の目にとまるよう工夫された造りとなっている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間でのこえかけを徹底することで利用者の方の居場所の把握に努めている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 手の届かない所に、しまったり、目につかないような工夫をおこなっている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ミーティングの時々や勉強会などで話し合う機会をもち、職員一人、一人が危機意識をもって日々のケアにあつたっている		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ミーティングの時々や勉強会などの機会をもち、職員一人、一人が、いつでも冷静に対応できるように繰り返し話し合いの場を設けている		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災時は、特に夜間を想定し、避難訓練を行ったり、近所の関連会社に応援に来てもらえるよう要請している。運営推進会議でも話し合う機会を持ち、近隣の方にも、協力してもらえるように話あった  (外部評価) 夜間を想定した避難訓練も実施している。具体的に寝たきりの方の移動の仕方などの指導も受けている。地域へも協力を依頼し、近所の24時間営業のタクシー会社の支援も得られる体制になっている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居の際にしっかりと話し合いをし、入居後の様子など、面会時、電話や手紙などでそのつど報告し、家族の方と相談しながら決めていくようにしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) そのつど主治医に報告し、適切な指示をもらうようにしている		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) その方がどんな病気があってどんな薬を飲んでいるか、職員がきちんと把握できるよう、処方箋や、メモなどを使用し解りやすくまとめている。薬が変更になったときは、特に変化等ないか介護記録に書きこむようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維の多い食材を使用したり、牛乳やヤクルトなどを飲用してもらったりしている。本人の体調や状態にあわせて散歩や体操などにも参加を促している		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 必ずみんなが口腔ケアが行えるように声かけや介助をおこなっている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) その人にあった食事が摂れるように心がけている  (外部評価) 食事の量はその人にあった適量が用意されており、食事を残した利用者にも後で食べられるようにおにぎりを作る等、個別に支援している。また、水分摂取にも配慮し、職員が声かけしたり、食事の際に汁物から摂れるようにしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手洗いの徹底、アルコール、次亜塩酸を使用し掃除を行っている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) キッチン、まな板等はこまめの消毒、除菌を行っている。キッチンへ入る際の手洗いの徹底をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の周りにプランターを置き、季節の花を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日差しによってカーテンを引いたりして調節している。  (外部評価) 居間は十分な広さがあり、テーブルやソファの配置を工夫して様々な居場所がつけられている。家具は木製のものが多く、落ち着いた家庭的な雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 席順などに配慮し、トラブルにならないように気をつけている。気の合う利用者さん同士が居室の行き来きをしたり、一緒にお茶を飲んだりされ、過ごされている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) その方の思い思いの家具を持ち込まれ、皆、めいめいに居室づくりをされている  (外部評価) 家族の写真や手芸作品等を飾り、温かさを感じられる。小箆箆や小机を持ち込んでいる方もおり、利用者の暮らしがうかがえる。また、ベッド・布団も個々の能力や希望により対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 各居室にエアコンがついている。冬は、床暖房が入るので、利用者の方にあつた温度設定をし、過ごしやすい環境になっている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレ、風呂場に手すりを設置している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室に目印をつけたり、居室、トイレの入り口に名前を貼ったりしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダは両ユニット続きとなっている。、各ユニットへ遊びに行ったり、ベランダへでて洗濯物を干したり、花に水をやりたりして過ごされている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の声かけやケアの中から利用者のかたの思いや意向が引き出せるよう、心掛けている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒に食事の下ごしらえをしたり、お茶を飲んだりする時間が作れるよう工夫している
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	皆、思い思いのペースで生活している
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームでの生活にも慣れ、仲のいい利用者さんと思いきいの生活を楽しまれているから
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的な理由で、外出が出来ない方を除いては、買い物や散歩などでホーム外に出られることも多い
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	地元の方が多いため、ホームに入居後も自分がかかっていたDrに引き続き診てもらえるよう配慮し、ホーム近辺の病院、4件の中から主治医を決めてもらっている
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その方の体調や症状にあわせ、食事の形態を変えたりしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	電話で近況を報告し話しあいの中で、ケアを進めている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	近隣からの入居者が多いため、地域とのかかわりも密で、毎日、誰かの面会がある

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方とホーム外で出会うことがあっても、声を掛けてもらえるようになってきた
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チームワークを大切に、職員で相談しながらケアにあたるよう努めている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ここ（ホーム）で看取って欲しいといわれる方が多い
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会の頻度も多く、その都度相談しながら日々のケアを進めている。協力的な家族が多い

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

チームケアを大切に、どうしたら言いかみんなと相談し毎日のケアをおこなってます。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名  
 ファミリーケア殖生 グループホームいまづ  
 (ユニット名) さくら

記入者(管理者)  
 氏名 藤川 洋子

評価完了日 平成 19 年 4 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 温一文字を基本理念として入口にわかりやすく掲げている  (外部評価) 開設者が地元の住民であり、開設時に掲げた理念自体が地域を念頭に決めたものである。「温」という理念は、利用者も職員も地域の方も、言葉はやさしく、常に笑顔で、安心して過ごせる場づくりをめざしたものである。		常に心の中にとどめるように自分の言葉で説明できるようにさらに話し合いをする
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 意味合いとしては受け止めている  (外部評価) 「温」という、わかりやすくイメージを抱きやすい理念なので、日々の生活での関わりの中で、常に意識して過ごしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 訪問してくれた人に見えるよう玄関入口に張り出してあるが訪れた人に聞かれることがない		家族の方など尋ねられた時スタッフが説明できるようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝の挨拶などは出来ているが入居者関係以外の人はなかなか立ち寄ることがない		ホームでの行事をするときなどに、誘いをかけて立ち寄ってもらえるようにしていきたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 秋祭りの行事などは子供たちがホームに訪ねてくれる  (外部評価) 地域の一員として各行事に参加するだけでなく、利用者は地域の方が多いため現在でも地域の方との交流はさかんで、スーパーなどでも自然に声をかけ合っている。		地域の掃除などに参加していきたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に参加してくれる家族の方には話す機会があるが外部の方との取り組みはしていない		高齢の方と暮らしている方が訪ねてきて、相談してくれる事などができたらよい
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を受ける事により職員それぞれの想いがわかった  (外部評価) 評価の意義をよく理解しており、職員全員が各自で自己評価をしてみるよう取り組んでいるが、全体で話し合っ て改善に結びつけるまでには至っていない。	※	小さな事でも話し利用者に同じケアができるよう に取り組んでいく  全職員が項目ごとの理解、取り組みを検討し、改善計画を立て、できることから実施していくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 民生委員の方や役所の方、利用者代表の方に来ていただいているが、ホームの職員が勤務の都合で参加できていない	※	職員人も参加して意見を出していけるようにしたい
			(外部評価) ホームの行事報告等が主な内容となっており、意見交換が少なく、サービスの向上に活かすことが少ない。また、地域からの参加も少ない。		運営推進会議のメンバーに地域のキーパーソンの参加をお願いするなど、様々な意見をサービスの向上に結び付けていく取り組みを期待する。また、運営推進会議での議題設定についても家族や職員等で話し合い、より活発な会議となるよう期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 生保担当の方とはよく話をする		
			(外部評価) ホームのすぐ隣に市役所の支所があり、介護保険や生活保護などの書類提出などをきっかけとして、行き来して話しやすい関係をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修などあれば参加している。ホームで必要とされる人はいるが活用までには至っていない		市役所の担当者には相談しているがいろいろな関係がありなきあなか進まない
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者同士のもめごとのとき、つい言葉がきつくなることもある		今のところなし

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ時は管理者が十分説明している		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者が不満、苦情、意見を言ったことを申し送りやその日の勤務者にすぐに話し合っている		内容により利用者と話をしたり職員で対応している
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ホームに面家事話している		ホーム便りを作成していきたい
			(外部評価) 来訪時に声をかけて日々の暮らしぶり伝えたり、利用者の伝えたいことを聞きとって手紙にするなどしているが、職員の異動などホームの様子は詳しく伝えていない。	※	ホーム全般については、広報も兼ねたホーム便りの発行を検討することを期待する。各利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理の状態などは、定期的に個別に報告することが求められる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) なかなか意見を聞くことがない		意見箱を置き様子をみていきたい
			(外部評価) 家族からはあまり意見や希望は寄せられていない。	※	来訪時は勿論、運営推進会議やホーム行事に参加してもらった時など、意見や希望を話しやすい雰囲気づくりを工夫し、出された意見は記録して共有し、サービスの向上につなげることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝の申し送りを日々のミーティングとし職員の要望などは本社会議で伝えている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整を努めている	(自己評価) 外出行事など予定のあるものについては人員確保している		病院は往診で対応しているが急な体調不良の時などは、対応に困ることがある
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職はあまりなく安定している  (外部評価) 異動は少ないが、産休・育休等もあるため、引継ぎを十分にするとともに利用者に説明し顔つなぎをして、円滑に移行できるよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の案内などスタッフに見せ希望を聞いている  (外部評価) 職員が選んで参加できるよう、研修の情報を開示しているが、シフトの調整等が難しいこともあり、参加は少ない。	※	人員の確保がむずかしく希望に添えないこともある  運営者及び管理者は、各職員の力量に応じて研修を受ける機会を確保するとともに、ホーム内でもテーマを設定した勉強会を開催するなど、職員の育成にさらなる工夫と配慮を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 案内が来たら参加している  (外部評価) 案内があれば管理者が参加しているが、職員までは参加していない。	※	今のところリーダーが参加している。職員にも参加させていきたい  地域包括支援センター管内のグループホームで集まる機会はあるので、管理者だけでなく職員間でも積極的に交流する機会をつくり、相互のサービスの向上に役立てることを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 希望休をきき出来るだけ無理のない勤務を組んでいる		人員がぎりぎりなので長期の休みは取れない。そのつど話をし、了解を得ている
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 会議の時に報告している		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ホームで関わりながら本人の話すことや行動で理解している		入所時に家族に本人の生活歴や、いままでの生活の様子を記入してもらっている
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族に今までの生活ぶりをききホームで知りたいことは聞き取りをしている		病院や居宅からの場合は情報をもらうことにしている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族の話をきき、どのように関わるか話し合っている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームで生活できるようにそれぞれの職員が話し合いをしかかっている  (外部評価) 入居前に在宅時のケアマネジャー等と情報交換し、自宅を訪問して生活環境を含む生活ぶりを把握し、見学や体験入居を繰り返しながら徐々に雰囲気に慣れてもらうよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 面会に来る人、こない人がありホームに任せきりのところがある  (外部評価) 職員は業務のみに従事しているのではなく、側に寄り添いながら会話することを大切にしており、ともに楽しんだり、感動したりできる関係を築いている。食事時などは利用者と職員で楽しそうに話が盛り上がっていた。		家族も交えた外出の機会を作るようにする
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会に来られた時などに、話をしホームでの生活を伝えている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近くの神社にお参りに行って利、スーパーまで歩いて買い物に行ったりしている		スーパーなどで顔見知りの人と会うこともあり声を掛けてもらっている
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 間食、食事の時間にホールに出てもらい利用者同士で会話ができるようにしている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去されるときは、病気の悪化などで入院されている		退去された後、ホームへの連絡はない。退去後の様子を知らせてもらえる取組をしたい
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活において、できないことを援助するようにしている  (外部評価) 入居時に丁寧なフェイスシートを作っているが、加えて日常の会話の中から利用者の気持ちを把握するよう努めている。家族の訪問時には進んで声をかけ、希望や意向を把握するようにしている。		本人の発する言葉を大切に、希望や意見の把握に努めたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) フェイスシートの記入を家族にお願いし、職員人も補足している		家族によっては記入してくれない方もおり、本人と日々関わりながら取り組んでいる
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックをしている。申し送り時に入居者の様子を伝えている		体調の変化のあるときは、家族に連絡している
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 全員が集まって話し合うことができず、その日の勤務者で話し合うことが多い  (外部評価) ミーティング時に全職員の意見を集約して介護計画を立てよう努めているが、担当者とケアマネジャーで相談して立てることになりがちなユニットもある。	※	全スタッフが話し合える時間を作りたい  書類を書くのが苦手な職員も、介護計画の作成に積極的に参加できる工夫が求められる。家族からの要望はほとんどないと最初から諦めることなく、家族・利用者・主治医などの意見も盛り込みながら職員が協力して作成し、共有することを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 今のところ利用者に変化がなく落ち着いている  (外部評価) 3か月ごとに見直し、変化が生じた時点での新たな介護計画を立てている。	※	朝の申し送りや、日々のかかわりの中で変化があれば検討する  1か月に1回開催しているミーティング時に、介護計画に基づいた評価を明確にする記録システムを工夫し、職員全員で話し合っで見直すことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 生活記録に記入し、変化があれば申し送り時に話をし全員に伝わるようにしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 同じ建物にマッサージ医院があり利用している  (外部評価) 要望に応じて、デイサービスや鍼灸院を利用できるよう支援している。		実費がかかるので家族に了解を得ている
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近くの幼稚園の行事に参加したり、ホームに来てもらっている。消防訓練も来てもらっている		子供たちが訪れると、利用者も元気をもらうので今後も続けていきたい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今のところなし		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加していただき相談している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的に往診に来てもらっている。症状の変化のある時はそのつど対応してもらっている  (外部評価) 入居前からの主治医との関係を大切にするとともに、24時間対応可能な往診専門の診療所とかかりつけ医の関係を築き、適切な医療が常に受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 診療内科の先生が往診にきて、よく相談に乗ってくれている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が常勤で勤務している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院先に出向き、病院、家族の方に様子を聞いている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したり終末期をむかえても、医療が常時必要でなければと家族に伝えている  (外部評価) 利用者、家族には、ターミナルケアについて医師より詳しく説明をもらい、同意書ももらっている。また、看取りについてマニュアルを作成し、かかりつけ医を中心にスタッフのコミュニケーションをとっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ユニットではまだ経験がないが、日常的に医療が必要な場合はホームで生活できないことを伝えている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院や他の居所に移る場合は、家族とも十分話し合い、主治医の意見も聴いている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録などは職員が管理している。言葉かけにもその人に応じた話し方をしている。申し送りの時にも気をつけている  (外部評価) 利用者の尊厳を大切にしており、特におむつ交換やトイレ介助には配慮している。入浴介助等も、同性介助の希望等にも対応している。個人の記録については、利用者間においてもプライバシーを侵害することのないよう取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人が自分なりに納得できるような言葉かけをしている		職員の声かけを待っている方もおり、自分から言えるように支援したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 集団生活の中で利用者の希望も取り入れながら支援している  (外部評価) 利用者自身が自分のペースを保ちながら過ごしている。食事の後片付け、洗濯物の取り込み等、職員は利用者の生活パターンを理解している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族の希望もあり、ホームにカットきてもらっているが、利用者によっては家族が行きつけの店に連れて行っている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえをその人の力に合わせてしてもらっている  (外部評価) 料理の下ごしらえを、当たり前のことのように自然に行っている姿が見られた。食事中も会話が弾んでにぎやかに楽しく過ごしている。後片付けもできる方が手伝っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) たばこ、酒は出していないが飲み物、お菓子、食事は本人の希望を常に聞いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その人にあった誘導や解除をしている。自立の方にもさりげなく声かけをし、パット等確認している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者の体長をみながら声かけをしている。本人の希望を聞いている  (外部評価) 一人ひとりの希望を把握しており、入浴を楽しむ気分になれるよう声かけ等にも工夫しながら支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その方の状況にあわせて居室で休んでもらっている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 利用者のできるレベルで、生活面での用をしてもらっている  (外部評価) 竹踏み、折り紙、編み物、裁縫などやりたいことをして過ごしている。また、食事の際には他の利用者の食器を片付ける方もおり、自分の役割を持って生活していることがうかがえる。		利用者から希望がいただけるように支援したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族よりおこずかいを預かっているが、買物がある時は本人に渡している		なんでもほしいという人などは、職員が説明し納得のいくようにしている
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 歩行が安定している人は、日々の買い物によく出かけている。車椅子の人は近くのスーパーに行っている。  (外部評価) ごみ出し、散歩、近所のスーパーへの買い物等へ出かけたりしている。幼稚園にもよく出かけていく。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) お墓参りなど家族が連れて行っているが、外食などはない。		家族の方が外出に連れて行ってもらえるよう支援したい
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は本人の希望で掛けている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも聞いていただけるよう対応している		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 転倒のおそれのある方には、その状況に応じてベットの柵を使用することもある		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者の様子によって鍵をかけている時もある  (外部評価) 2ユニットがL字型で、スタッフルームは繋がっており、外へ出るには両方の職員の目にとまるよう工夫された造りとなっている。		帰宅願望があり外に出たがる方は、止めずにあとから付いていき、様子を見て声かけをし、ホームに戻ってもらっている
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ホールにおられないときは、居室を見たり様子をうかがっている。夜間は定期的に巡視を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者にあわせて使用してもらっている。		包丁などを使用するときは、必ず職員がそばにしている
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルはある。。		いつ何が起きても対応できるように定期的に訓練していきたい


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) バイタルチェックは全員できるが、急変時の対応ができるかは分からない。		救急の講習を受けたことがあるので定期的に行いたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の方と、火災の訓練を行った  (外部評価) 夜間を想定した避難訓練も実施している。具体的に寝たきりの方の移動の仕方などの指導も受けている。地域へも協力を依頼し、近所の24時間営業のタクシー会社の支援も得られる体制になっている。		地域の方を交えた訓練をしていきたい
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) レベルの変化に応じて家族の方と話をしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 申し送りを行い状況によって家族や主治医に連絡している		夜間急変した時は対応に困ることがある。家族に連絡が取れないなど
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬はホームで預かっている。直接本人に手渡し服薬の確認をしている。また処方箋をまとめて見やすくしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 自立の方には本人の希望に応じた対応をしている。 介助の方には職員が薬の調節をしたりしつめる		申し送り時に排便の様子を伝え対応している
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自立の方には声かけをし、介助のいる人には、手助けをし1日3回きちんとしている		義歯の方にはポリドントを使用してもらっている
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) その人に食べれる量を把握し出している。声かけや介助することもある  (外部評価) 食事の量はその人にあつた適量を用意されており、食事を残した利用者にも後で食べられるようにおにぎりを作る等、個別に支援している。また、水分摂取にも配慮し、職員が声かけしたり、食事の際に汁物から摂れるようにしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) キッチンではハイターを使用している。食器は乾燥機にかけている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手洗いを常にしている。手袋や消毒液も常に置いている		トイレ内はハイターで掃除している。また床、手すりなどもハイターで消毒している

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物の入口には花があるが、グループホームが二階の為わかりにくい。		グループホームの入口がわかりやすくなるよう工夫をする
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日差しの強いときにはブラインドを使用している  (外部評価) 居間は十分な広さがあり、テーブルやソファの配置を工夫して様々な居場所がつけられている。家具は木製のものが多く、落ち着いた家庭的な雰囲気がある。		大きな音がしたときは、すぐに現場に行き対応している
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 一人になりたいときは、自室に戻るなど自由に行っている。またテーブルの決まった席で、会話もしている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 何でも必要なものは持ってきてよいことを説明している  (外部評価) 家族の写真や手芸作品等を飾り、温かさを感じられる。小箆箆や小机を持ち込んでいる方もおり、利用者の暮らしぶりがうかがえる。また、ベッド・布団も個々の能力や希望により対応している。		利用者によっては自分の好みで居室を作っている人もいる

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 利用者がホールにいるときは、居室の窓を開け換気をしている。エアコンもこまめに調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 車椅子や歩行器でスムーズに移動ができるようにテーブルの位置を決めている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 耳の聞こえにくい方には、近くで話しかける。ゆっくり話すなど心がけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 二階にあるためベランダは、物干し以外に利用されていない		お茶などを楽しむスペースとして活用できるようにしたい。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々のかかわりの中で職員の利用者に対する思いが同じである
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者のレベルに応じて手芸をしたり月のカレンダーを作るなどしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の部屋で過ごす方もいればホールで過ごすかたもおりさりげなく職員がかかわっている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できることをしてもらおうなどの時とくにいい表情が見られる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の支援が得られない利用者もおり職員だけでは対応できないところもある
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的に往診に来てもらっている。また電話で相談して対応している
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の対応で落ち着いている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会の時などにホームでのようすを話している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	家族の面会はあるが地域の方がたずねてくることはあまりない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会をかさねるごとに増えている。小さなことでも話安くなっている
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームで利用者とかかわる時笑顔が多い
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	中には自分のことばかりの利用者もありすべての希望を聞くことはできない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ホームに入居するとすべてホームまかせで面会にも来ない家族もいる

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

入居している方それぞれ身体のレベル 精神の レベルの違いがあるがその方にできることや思いを聞きかかわっている